

A chimpanzee is shown sitting on a thick, dark tree branch. The chimpanzee is facing left, looking towards the camera. The background is filled with dense green foliage, including various leaves and branches. The lighting is natural, suggesting an outdoor setting. The overall scene is vibrant and lush.

かみね動物園における
「チンパンジーの森植樹祭」
の取り組み

日立市かみね動物園
大栗靖代・山内直朗

コンクリートから土と緑へ

2008年にかみね公園活性化推進計画の
第一弾としてチンパンジー舎をリニューアル

旧チンパンジー舎



コンクリートに囲まれた無機質な環境

リニューアル後「チンパンジーの森」



「より広く、より高く、より近く」をコンセプトに
3本のタワーと土、緑のある環境

森にはほど遠い??



これまでの環境に比べ、チンパンジー達の好奇心を刺激する大きなタワーや来園者が下から覗くことの出来るドーム、今までにはなかった緑や土はありました。

しかし、「チンパンジーの森」と言うには名前負けしてしまうほどの緑しかない状態でした。



「森」と呼ぶことができる状態なのか？



森を目指して「植樹祭」開催



「今」森でないのなら、「これから」森を目指していけば良いではないか、と考え職員たちの提案によりリニューアルから一年後、市民と共に森づくりを目指し、植樹祭を開催。

参加者に植木を持ちよっていただき、直接運動場に植えてもらうイベントになりました。

また、担当者による植樹も継続的に行うようになりました。

最初からあった植栽は電柵で囲っていましたが、これも撤去。
運動場内の緑はチンパンジー達のものであり、イタズラされても喜ぶなら仕方ないと考えました。



市民を巻き込んだエンリッチメント

この植樹祭では普段入ることのできないチンパンジー達の運動場に入ることができ、さらに自分たちが植樹した木をチンパンジー達が利用する姿を観察することで、「チンパンジー達のために何かをすることができた」という実感をえることができます。

参加型のエンリッチメントでありながらの楽しいイベントとなりました。

動物園の毎年恒例行事となり、2009年から2013年までに計5回開催しています。



たくさんの笑顔
で毎年開催



運動場の変化

2009年

下草もまばらでぽつぽつと木がある状態
まだまだ整備された緑といった印象



2010年

下草がかなり伸びてきて印象がやや変わる
タワーの間の木が少し増えてきた状態



少しずつ森へ...

2011年

元々の植栽もかなり大きくなり、下草もまばらではなく全体に生えてきた状態



2012年

運動場の左側に大きなスタジイの木を移植
タワーの間がかなり緑豊かな状態



2013年の植樹祭



整備された緑という印象が薄れ、チンパンジー達が好むような雑然とした緑の状態になってきました。枯れてしまった木も撤去はせず、利用できるようそのまま植まっています。



チンパンジー達の変化



過去3回の出産では育児が出来なかったヨウ。現在ではゴウの良きお母さんに。



推定34歳、日本最高齢初産のマツコ。人工哺育で育児を学んでこなかったが、リョウマをしっかり抱えてくれた。

2011年、2012年と当園で2年連続19年ぶりの繁殖がありました。育児放棄と未熟児という理由により両事例とも一時は人工哺育となりましたが1年ほどで群れへと戻っていききました。子供たちが入ったことにより大人たちにも良い方向の変化があり複雄複雌の群れとして現在非常に落ち着いています。この変化には植樹祭などによる環境づくりも少なからず影響しているのではないかと考えています。



ネスト作りにはげむアルファオスのゴヒチ。新しく導入されたメスたち、子供たちの群れ入れをスムーズに行えたのは彼のおかげ。頭が下がるほど本当に良いオスです。



参加者の推移と樹木の種類

参加者推移

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
26組	19組	12組	6組	6組
100名	80名	48名	17名	29名

参加者減少の要因としては植木を用意することの難しさ、植樹祭後のフォローの少なさではないかと考えています。

もっと気軽に参加できるようにすること、定期的に植樹した植木の状況を報告、特別イベントを行うなどもっと楽しくしていけるよう改善していく必要があると感じています。

樹木についてはこちらで指定せず、参加者に好きなものを用意してもらいました。

すぐにチンパンジー達に利用されてしまうもの、ほとんど利用されないものに分かれたのですが電柵を使用しての樹木保護は行いませんでした。チンパンジー達が樹木を引き抜く、とい行為は見られず利用されないものは残り、結果として緑が増えています。

樹木の種類

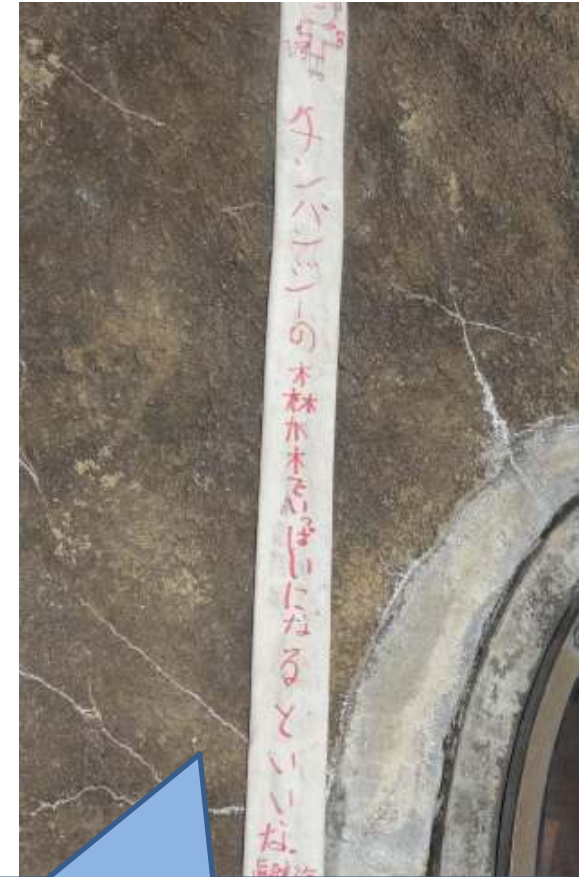
アジサイ	ヒメシャラ	ブルーベリー
ツツジ	ストロベリーグアバ	パンジー
サクラ	アケビ	トウヒモミ
リンゴ	プルーン	ボケ
フジザクラ	マルベリー	ライラック
ムクゲ	ナンテン	モクレン
ヒラドツツジ	トベラ	クスノキ
イロハモミジ	コデマリ	クチベニベンケイ
レッドロビン	モモ	ネズミモチ
キンモクセイ	クチナシ	クヌギ
アラカシ	シラカシ	ビワ
ハナミズキ	マテバシイ	カツラ
クプレツサズウイルマ	コナラ	etc.

これからの植樹祭と森づくり



2013年の植樹祭では地元の農園業者に植樹の指導、植木の寄付をしてもらったり、チンパンジーのニーズを満たす別の方法の一つとして消防ホースに参加者からメッセージを書いてもらい運動場に設置するなど新しい試みを始めました。

植樹した木はチンパンジー達が折って遊んだり、食べたりするため、まだまだ「森」にはなっていません。それでも少しずつですが緑豊かな環境に近づいています。諦めずにこれからも継続的な植樹を行っていくつもりです。



この言葉を胸に、これからも市民と一緒に「森づくり計画」を進めていきます！